

学習の様子

◎日常生活の指導

1日の生活の流れのなかで、衣服・靴の着脱、排泄、食事など、一人一人にとってより良い手だてを工夫し、自分でしようという気持ちや自分でできる力を育てています。

◎設定遊び

一人一人が遊びをとおして、周りの人や事物に対して興味をもってかかわり、より豊かな遊びを展開できるよう指導しています。

朝の集まり



呼名では、一人ずつ前に出て自分の顔写真を貼って「できました」とタッチしたり、VOCAを使って返事をしたりしています。カレンダーワーク、一日の予定を知る時間です。

造形



のり、クレヨン、絵の具などいろいろな素材や道具を使って、作る楽しさを味わうことができる活動です。一人一人が自分で取り組むことができるように活動の内容や手だてを工夫して行っています。

運動・リズム



隔週で実施しています。お母さんと一緒に、体を十分に動かす心地よさを味わったり、いろいろな音楽に親しんだりして楽しむ時間です。

のびのび（個別指導）



一人一人の幼児の実態に合わせて、お絵描き、ひも通し、型はめ等、目と手の協応、言語・認知、数、運動動作などの内容について、個別指導を行っています。

支援グッズ（日常編）

1日の予定表



1日の活動を写真や絵カードで示しています。登校すると、今日はどのような活動をするのか、確認できるようになっています。活動が終わると、そのカードを外していきます。カードが無くなると、1日が終わったことが分かります。

次の予定



①今からすること ②次の活動 を知らせます。①の活動の終わりはタイマーで知らせます。タイマーが鳴る前に、もう少しで終わることの予告を入れることで、子どもたちも切り替えの心構えができていきます。終わった後、どうするかが分かると安心できます。

時間の見通し



タイマーを赤い円で表したものです（タイムタイマー）。時計が読めなくても、後どのくらい遊べるのか、どのくらい待てばよいのか、見て目安にすることができます。ケースに入れておくことで、子どもたちが勝手に触れてはいけないことを示し、持ち運びにも便利です。

ICTの活用例



新しい活動を手本で示しても、どこを見てよいかわからないことがあります。テレビ画面で提示することで、注視するポイントをアップでき、より伝えやすくなります。タブレット端末は、移動の際や個別に視聴することができます。